

ハイパワー・デジタルトランシーバー

FC-D301 PLUS

UHF デジタル簡易無線登録局

取扱説明書

保証書付

デジタル
82 チャンネル

資格不要

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。
お読みになった後は、大切に保管していただき、その都度ご参照ください。
本製品は日本国内専用モデルですので、国外で使用することはできません。

FC-D301 PLUS は、技術基準適合証明を受けた登録局対応のデジタル簡易無線機です。

無線機を使用するにあたっては、無線局の登録申請を管轄の総合通信局に行い、登録状の交付を受けたあとに使用してください。

※ 1 無線局の登録申請を行わずに使用しますと、「電波法第 110 条」による不法無線局開設により罰則の適用を受けることになります。

電波法 第 110 条 罰則

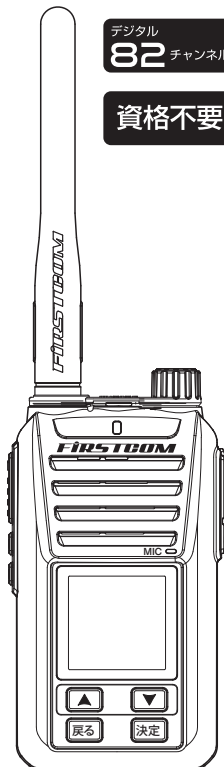
次の各号のいずれかに該当する者は、1 年以下の懲役または百万円以下の罰金に処する。

第 1 号 第 4 条の規定による免許または第 2 条の 18 第 1 項の規定による登録がないのに、無線局を開設した者
(第 2 号以下略)

※ 2 本製品を上空で電波を送信した場合は、登録状の範囲を超えた運用となり、電波法違反となりますのでご注意ください。

無線機は上記の内容を十分ご理解の上で使用するください。
無線局の登録申請については、総務省のホームページをご覧ください。

<https://www.tele.soumu.go.jp/>



目次

安全上のご注意3

ご使用の前に

電波法に関するご注意	7
使用上のご注意	8
同梱品の確認	9
オプション一覧	9
バッテリーパックの取り付け / 取り外し	10
バッテリーパックの充電	12
アンテナの取り付け	14
ベルトクリップの取り付け	14
オプション機器の接続	15
USB ケーブルの接続	16
ストラップの取り付け	17

各部の名称と機能

操作ボタン / ツマミ	18
表示部	20

操作方法

操作説明について	23
通話する	23
送信出力切り替え	26
キーロック	26
チャンネルスキャン	27
セカンドトークチャンネル	28
簡易メニュー	30
一括ユーザーコード (UC)	32
秘話機能	33
上空チャンネル受信	33
送信出力設定	34
自動液晶オフ機能	34
録音機能	35

拡張メニュー	38
個別 ID	41
全設定初期化	41
拡張全初期化	42
電池セーブ	42
VOX	43
PTT ホールド	44
セカンドトークチャンネル保持時間	44
セカンドトークチャンネルビーブ音	45
セカンドトークチャンネル	45
内部マイク感度	46
外部マイク感度	46
通話告知音	47
終話告知音	47
送信音イコライザー	48
受信音イコライザー	48
送信電力オートパワーダウン	49
一括秘話鍵コード	50
キー操作音	50
周波数 S メーター表示	51
日時設定	51
日時表示	52
設備情報	52
PC ソフトウェアについて	52

故障かな？と思ったら53

主な仕様54

保証規定 / 保証書 裏表紙

安全上のご注意

絵表示について

この「安全上のご注意」には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。ご使用する場合は、下記の内容をよく理解して記載事項をお守りください。

- | | | |
|--|-----------|--|
|  | 危険 | この表示の欄を守らないと人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容です。 |
|  | 警告 | この表示の欄を守らないと人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。 |
|  | 注意 | 注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。 |

-  気をつけていただきたい内容です。
-  してはいけない内容です。
-  しなければならないことを表しています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、またはこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

危険

使用環境・条件

-  引火、爆発の恐れがありますので、プロパンガス、ガソリンなどの可燃性ガスの発生するような場所では使用しないでください。
-  運転しながら本機を操作するのはおやめください。安全な場所へ車を停車させてから操作してください。

充電池（バッテリーパック）の取り扱いについて

充電池は以下のことをお守りいただけない場合、けがや電池の漏液、発火、発熱、破裂させる原因となります。

-  充電池を電磁調理器の上に置いたり、電子レンジや高压容器に入れないでください。
-  充電温度範囲は5℃～40℃です。この温度範囲外では充電しないでください。
-  専用充電台以外では充電しないでください。本機以外の機器に取り付けしないでください。
-  火の中に投入したり、加熱したり、ハンダ付けしたり、分解しないでください。
-  端子を針金などの金属類でショートさせないでください。また、ネックレスやヘアピンなどの金属物と一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
-  液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
-  液が皮膚や衣類に付着したときは、皮膚に障害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

安全上のご注意

⚠ 警告

使用環境・条件



電子機器（特に医療機器）の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。



空港施設、鉄道施設、港湾、病院などの管理区域に指定されている場所での無線機器の使用については、各施設管理者にお問い合わせ、ご確認の上ご使用ください。



本機を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。

使用方法について



エアバック装置の近くに無線機を置かないでください。エアバック装置が動作したときなど無線機が体に当たってけがをすることがあります。



機械に巻き込まれる恐れのある場所では、スピーカーマイクロホンなどのケーブルを首にかけないでください。けがの原因となります。



本機の近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。



本機は調整済みです。分解・改造して使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



アンテナやストラップを持って、無線機を振り回さないでください。人に当たってけがを負わせたり、物に当たって無線機が破損することがあります。



ネックストラップを使用している場合、ネックストラップがドアや機械等に挟まれないように注意してください。けがの原因となります。



高温になる場所（火のそば、暖房機のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。火災、やけど、けがの原因となります。



アンテナ端子に触れているときに送信しないでください。高周波やけだの原因となります。

異常時の処置について



内部に水や異物が入った場合や、落したり、ケースを破損した場合、または異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常な状態になった場合は、そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。



落下などにより破損した部品には直接触らないでください。けがの原因となります。



煙が出たら、すぐに電源を切り、電池を外し、充電中は電源プラグを AC コンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げの販売店にご連絡ください。



雷が鳴り出したら、安全のため電源を切り、充電中は電源プラグを AC コンセントから抜いてください。

保守・点検



本機のケースは開けないでください。感電・けが・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

⚠ 注意

使用環境・条件



テレビやラジオ、パソコンの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりする場合があります。



直射日光が当たる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がったり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。



ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。



結露した場合は、自然乾燥させるか、長い時間同じ環境に置くなどして、結露がなくなってからご使用ください。



無線機や付属品は幼児の手の届かないところに保管してください。

使用方法について



アンテナを誤って目にささないようにご注意ください。



マイク / イヤホン端子には指定されたオプション以外は接続しないでください。故障の原因となることがあります。



乾燥した部屋やカーベットの敷いた廊下などでは静電気が発生しやすくなります。このような場所では、イヤホンを使用した時に静電気で耳の皮膚に電気ショックを感じる場合があります。静電気が発生しやすい場所ではイヤホンを使用しないか、スピーカー・マイクロホンをご使用ください。



長時間使用しないときは、電源を切り、電池を外してください。



お手入れの際は、電源を切り、電池を外してください。



イヤホンを使用するときは、音量を上げすぎないでください。聴覚障害の原因となることがあります。



水滴が付いたら、乾いた布でふき取ってください。汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤をご使用ください。シンナーやベンジン、アルコールは使用しないでください。

防塵・防水性能について

本機は設計段階において該当する防塵 / 防水性能の試験をおこないその性能を確認しておりますが、実際の使用においては下記の条件や注意事項をお守りください。

- 防水保護 IP67 相当の防塵 / 防水性能を備えていますが、実際のご使用にあたって、全ての状況で防塵 / 防水を保証するものではありません。
- オプションを使用する場合は、プラグを確実に取り付けてから固定してください。また、取り付ける際には、微細なゴミなどを挟んでいないかご確認ください。
- 石鹸水、洗剤、調味料、ジュース、海水、油など水道水以外のものをかけたり、浸けたりしないでください。また、高温のお湯に浸けたり、かけたりしないでください。
- 本機の汚れを落とす際は、水に浸したり、蛇口からの水や湯を直接当てたりしないでください。
- 本機が濡れているときは防水カバー、電池パックを開けないでください。
- オプションを接続するときはプラグを確実に固定してください。
- オプション自体の防塵 / 防水性能は各オプション製品により異なります。
- 充電台や AC アダプターは防塵 / 防水ではありません。
- 本機に衝撃を与えた場合は、防塵 / 防水性能に影響を与える場合があります。

電波法に関するご注意

- 本機は電波法に基づいて、特定無線設備の工事設計についての認証を取得したデジタル簡易無線電話装置です。本機を分解・改造して使用すること、また本機の技術適合証明ラベルを剥がして使用することは電波法により禁止されています。
- 本機では、付属のアンテナ以外に技術適合証明（工事設計認証）で認証を受けたアンテナもご使用いただけます。技術適合証明（工事設計認証）で認証を受けたアンテナについては、弊社ホームページをご覧ください。弊社サポートにお問い合わせください。
- 登録状の範囲を超えた運用は電波法違反となりますのでご注意ください。
- 他人の通信を聞いて、その内容を漏らすこと、または窃用することは電波法により禁止されています。
- 無線局の登録（包括登録の場合には開設の届出）が行われますと、総務省より電波利用料の納入告知書が送付されて来ますので納付期限内に電波利用料を納付してください。
- 登録局の有効期間は登録の日から5年間です。再登録申請は、登録の有効期間満了の3ヶ月前から1月前までの期間内に手続きを行ってください。再登録を行わずに本機を使用しますと「電波法第110条」により「1年以下の懲役または百万円以下の罰金」に処せられます。十分ご注意ください。
- その他、必要に応じて下記の手続きを行ってください。
 - ・登録状の記載事項に変更が生じる場合（変更登録）
 - ・登録状が破れたり、汚れたり、紛失した場合（再交付申請）
 - ・登録局を廃止した場合（廃止届出）
 - ・友人などに登録局（無線機）を貸し出した場合（無線局の運用の特例に係る届出）

使用上のご注意

- 施設の管理等により、無線機器の使用が禁止されているところでは、本機を使用しないでください。
- テレビ、ラジオ、パソコンなどの電子機器の近くで使用すると電波妨害が発生することがあります。これらの機器からは離れてお使いください。
- 本機を複数で使用する場合は近距離（約 10 m以内）で同時に通信しないでください。異なるチャンネル同士であっても電波妨害が発生することがあります。
- 通話のできる距離は地形や環境（天候や建物などの障害物）によって短くなることがあります。そのようなときは、少し場所を移動して運用してください。
- 通話のできる距離の目安は下記の通りです。建築物が多い地域や自動車などの金属物体の周囲では通話のできる距離が短くなります。

※送信出力 5 W時

- ・市街地：0.5km ～ 1km
- ・見通しのよい場所：1km ～ 4km

免責事項について

本機の故障・誤作動などにより、利用の機会（通話など）を逸したために発生した障害などの付随的損害については、弊社は一切その責任を負いかねます。

音声圧縮（符号化）方式について

本機は、米国 DVSI 社の開発した AMBE（Advanced Multi-Band Excitation）方式を採用しており、AMBE+2™ に対応しています。

The AMBE+2™ voice coding Technology embodied in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. This voice coding Technology is licensed solely for use within this Communications Equipment. The user of this Technology is explicitly prohibited from attempting to extract, remove, decompile, reverse engineer, or disassemble the Object Code, or in any other way convert the Object Code into a human-readable form U.S. Patent Nos. #8,315,860, #8,595,002, #6,199,037, #6,912,495, #8,200,497, #7,970,606, and #8,359,197.

同梱品の確認

お買い上げいただいた製品は次の品目で構成されています。使用する前にご確認ください。万一、足りない場合や破損していた場合は、すぐに販売店または購入先までご連絡ください。

本体	1	登録申請書類	一式
アンテナ	1	(無線局登録申請の手引き：1 枚)	
充電式リチウムイオンバッテリーパック	1	(無線局登録申請書：2 枚)	
充電器	1	(無線局包括登録申請書：2 枚)	
充電器用 AC アダプター	1	(添付書類：1 枚)	
ベルトクリップ	1	(登録局の開設届出書：1 枚)	
ベルトクリップ取付ねじ	2	取扱説明書（本冊子）保証書付	1

オプション一覧

本機用として下記のオプションが用意されています。

FC-D301BT・・・リチウムイオンバッテリーパック (1600mAh)

FC-D301BC・・・充電器

FC-D301AC・・・充電器用 AC アダプター

FC-D301DC・・・車載充電ケーブル

FC-D301BL・・・ベルトクリップ

FC-D301AT・・・アンテナ

FC-D301LC・・・レザーケース

〈イヤホンマイク〉

適合イヤホンマイクは弊社ホームページを参照してください。

※本機で利用できるオプション品が追加されたり、生産が終了することがあります。

オプション品については弊社ホームページ、カタログなどをご覧ください。

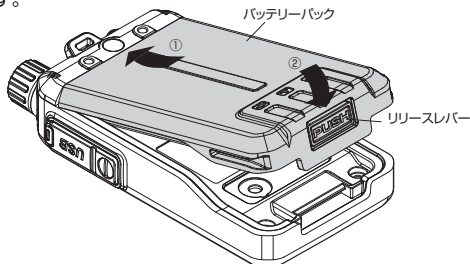
※弊社純正、または弊社が認めたオプション品以外をご使用になって起きた不具合は保証期間の有無に関係なく、有償修理になります。他の無線機メーカーのオプション品が利用できるかは検証していないため、使用は推奨できません。

オプション専門メーカーの製品の場合は、そのメーカーにお問い合わせください。

バッテリーパックの取り付け / 取り外し

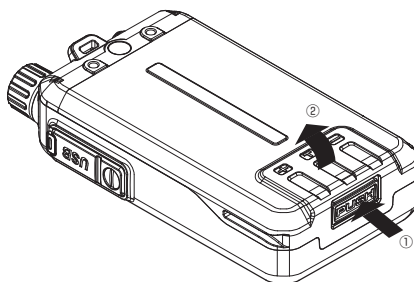
バッテリーパックの取り付け

バッテリーパック上側の凸部と本体裏側の溝を合わせ、リリースレバーを本体にロックさせます。



バッテリーパックの取り外し

バッテリーパックのリリースレバーを押しながら開いて取り外します。



バッテリーパックの特性について

- 充放電を繰り返すと、使用できる時間が徐々に短くなります。
- 使用せずに置いておくだけでもわずかながら電池の劣化が進みます。
- 低温での充電時間は、室温時より長くなる場合があります。
- 高温状態で充放電したり、無線機を使用すると寿命が短くなります。また、高温状態で保管も劣化の進行が早まります。車の中に置いたままにしたり、暖房機の上に置いたりしないでください。
- バッテリーパックを高温状態で放置すると使用できなくなります。バッテリーパックが冷えてから使用してください。冷えても使用できない場合は、一度充電してから使用してください。
- 長期間保存後は電池容量が低下していることがあります。必ず充電してから使用してください。
- 満充電しても使用時間が短くなってきた場合は、バッテリーパックの寿命です。このまま充電 / 放電を繰り返すと液漏れの原因になることがあります。新しいバッテリーパックをお買い求めください。

使用済み充電電池の取り扱い注意事項

- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。



Li-ion 00 充電式電池
使用後はリサイクルへ

・ 不要になった充電電池は貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。



ご注意

- バッテリーパック、充電器、AC アダプター、ベルトフックは専用品を使用してください。
- バッテリーパックは出荷時には満充電されていません。使用前に必ず満充電にしてください。
- 長時間使用しないときは、バッテリーパックを本機から取り外してください。
- バッテリーパックの端子をショートさせたり、火中に投げたりしないでください。また、分解しないでください。

バッテリーパックの充電

はじめてお使いになるときや、使用後は必ず充電してください。

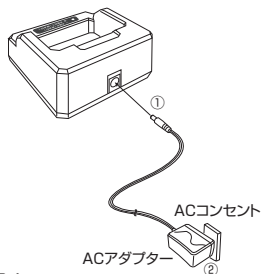


ご注意

- 無線機を使用しながらの充電はできません。無線機を充電器に差し込むときは、必ず電源を切ってください。

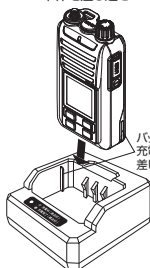
1.ACアダプターのDCプラグを充電器の後方の端子に差し込む

2.ACアダプターのACプラグをACコンセントに差し込む



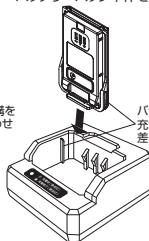
3. 本体またはバッテリーパック単体を充電器に差し込む

本体を差し込む



バッテリーパックの溝を
充電器の突起に合わせ
差し込む

バッテリーパック単体を差し込む



バッテリーパックの溝を
充電器の突起に合わせ
差し込む

LED が赤で点灯します。充電時間の目安は約 210 分です。

4.LED が緑に点灯すると充電が完了する

本体またはバッテリーパックを充電器から抜きます。

- LED が点灯しない、または残量が無い場合でも充電されず LED が緑色に点灯する場合は
- 正しく差し込まれていない→再度差し込み直してください。
 - バッテリーパックが異常である→新しいバッテリーパックを使用してください。
 - 端子が接触不良になっている→端子を綿棒や乾いた布で拭いてから再度、充電してください。

LED が赤色で点滅する場合は

- バッテリーパックの温度が充電温度範囲外になっている→一度バッテリーパックを充電器から抜き、バッテリーパックが常温になったら再度充電器に挿入してください。



ご注意

- 必ず専用のバッテリーパックを使用して充電してください。
指定以外のバッテリーパックを用いて充電すると故障の原因となります。
- 充電端子を金属物などでショートさせないでください。
- 本体やバッテリーパックが濡れたままで充電すると、故障の原因となります。本体やバッテリーパックが濡れているときは、乾いた布でよくふき取ってから充電器に差し込んでください。
- 充電器の端子は、ゴミなどが付着しないように綿棒や乾いたやわらかい布で時々ふいてください。
- 充電器の近くで無線機を使用すると、充電器が誤動作することがあります。

バッテリー使用時間の目安 (Typ. 値)

送信 5/ 受信 5/ 待ち受け 90 の比率にて連続運用した場合

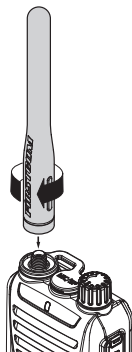
送信出力	自動液晶オフ設定を ON バッテリーセーブを ON	自動液晶オフ設定を OFF バッテリーセーブを ON	自動液晶オフ設定を ON バッテリーセーブを OFF	自動液晶オフ設定を OFF バッテリーセーブを OFF
H(5 W)	約 10.5 時間	約 9.5 時間	約 8.5 時間	約 8 時間
M(2.5 W)	約 11 時間	約 10 時間	約 9 時間	約 8.5 時間
L(1W)	約 12.5 時間	約 11.5 時間	約 10 時間	約 9 時間
S(0.25W)	約 14.5 時間	約 13 時間	約 11 時間	約 10 時間

バッテリー残量警告

バッテリー残量が減ると、表示部の電池残量表示「」が白色から赤色になり知らせます。早めにバッテリーパックを充電するか交換してください。(P.21 参照)

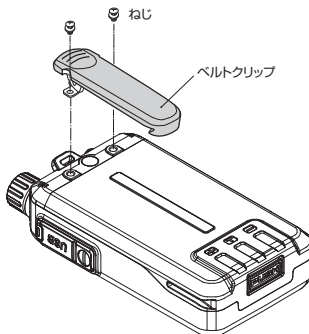
アンテナの取り付け

アンテナの根元を持ち、本体上面のコネクタに時計方向（右）に固定されるまで回して確実に取り付けます。



ベルトクリップの取り付け

ベルトクリップと本体のねじ穴を合わせて、付属ねじで取り付けます。



ご注意

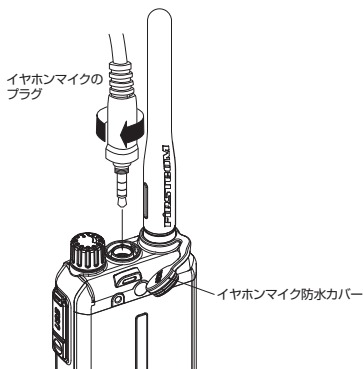
- 付属以外のねじを使用しないでください。
- 時々ねじのゆるみがないか確認してください。

オプション機器の接続

イヤホンマイクの接続

オプションのイヤホンマイクを接続できます。

イヤホンマイク防水カバーを外して、接続端子にイヤホンマイクのプラグを差し込み、右方向に固定されるまで回して取り付けます。



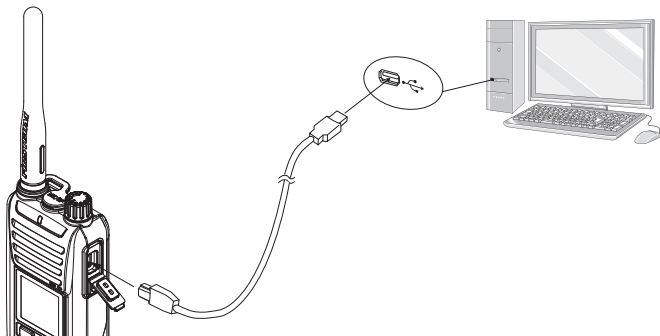
ご注意

- 必ず電源を切った状態で接続してください。
- 使用前に、オプション機器の取扱説明書をお読みください。
- 専用品をご使用ください。専用品以外を接続すると誤動作や故障の原因となります。
- プラグを取り外すときは、プラグ部をしっかりとって取り外してください。ケーブルを持って取り外すと故障の原因となります。
- オプションのイヤホンマイク接続時、イヤホンマイクの PTT スイッチを押すとイヤホンマイクのマイクロフォンが動作し、本体の PTT スイッチを押すと本体のマイクロフォンが動作します。
- VOX 機能、PTT ホールド機能をイヤホンマイクで使用する場合は、対応品をお買い求めください。対応オプションについては、弊社ホームページ、カタログ等をご覧ください。

USB ケーブルの接続

USB ケーブルの接続（市販品）

パソコンと接続する場合にのみ使用します。本機のコネクタータイプはマイクロ USB タイプ B です。



- ・本機は、パソコン上で専用アプリを使用することにより簡易メニュー項目の追加やチャンネルごとの設定を行えるようになります。詳細は、52 ページを参照してください。

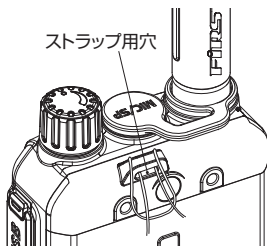
ご注意

- 必ず電源を切った状態で USB ケーブルを脱着してください。
- プラグを取り外すときは、プラグ部をしっかり持って取り外してください。ケーブルを持って取り外すと故障の原因となります。
- 使用後は USB 防水カバーの全体を擦るように押し、防水カバーの浮きが無いようにしてください。浮きがある場合、防水性能が保てなくなります。

ストラップの取り付け

ストラップの取り付け（市販品）

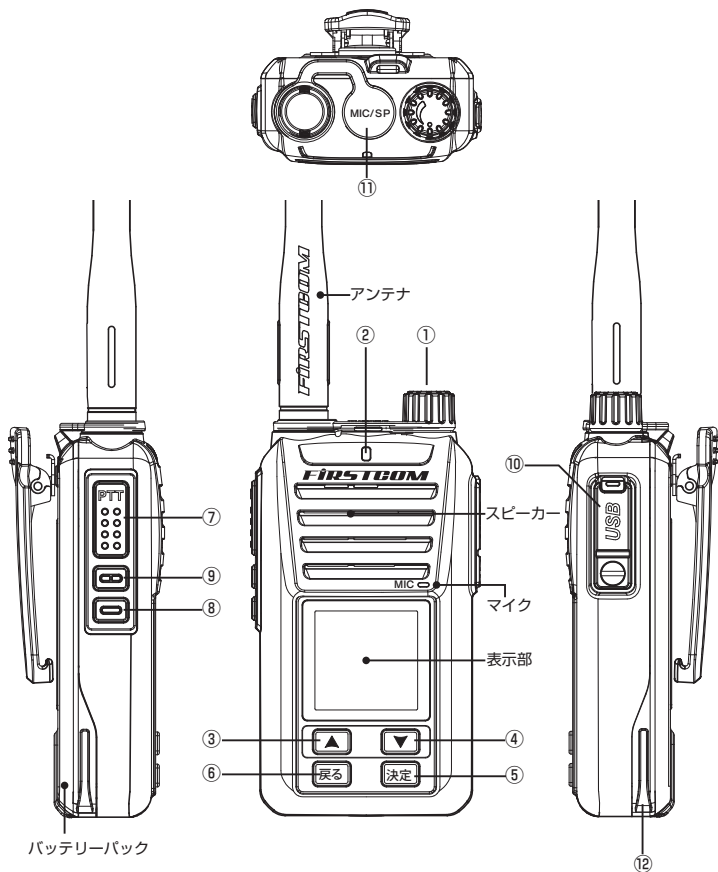
ストラップを取り付けるときは、本機背面のストラップ用穴を使用してください。



ご注意

- ストラップを持って本機を振り回さないでください。故障やけがの原因となります。

操作ボタン / ツマミ



①電源 / 音量ツマミ

電源の ON/OFF、音量の調節をします。

②送受信 LED

送信時は赤色に点灯します。受信時は緑色に点灯します。

自動液晶オフ設定が ON の場合、液晶消灯時に 10 秒毎に点滅します。

③▲（アップキー）

チャンネル番号が上がります。

約 1 秒押すとチャンネルスキャン機能を開始 / 停止します。

④▼（ダウンキー）

チャンネル番号が下がります。

約 1 秒押すと表示しているチャンネルのスキャン対象 / 非対象を切り替えます。

⑤決定キー

押すと簡易メニューを表示します。

押しながら電源を入れると拡張メニューを表示します。

約 1 秒押し続けるとキーロック機能が ON/OFF します。

⑥戻るキー

前の項目に戻る。

約 1 秒押し続けると録音機能を設定 / 解除します。

⑦PTT スイッチ

押すと送信します。押したままマイクに向かって話します。

⑧サイド 1 スイッチ

セカンドトークチャンネルが設定されている場合は、押し続けるとセカンドトークチャンネルで送信します。

⑨サイド 2 スイッチ

押すとモニター機能が ON/OFF します。

約 1 秒押し続けると送信出力が切り替わります。

⑩マイクロ USB 端子カバー

カバーを開けて、マイクロ USB を接続します。

⑪イヤホンマイク端子カバー

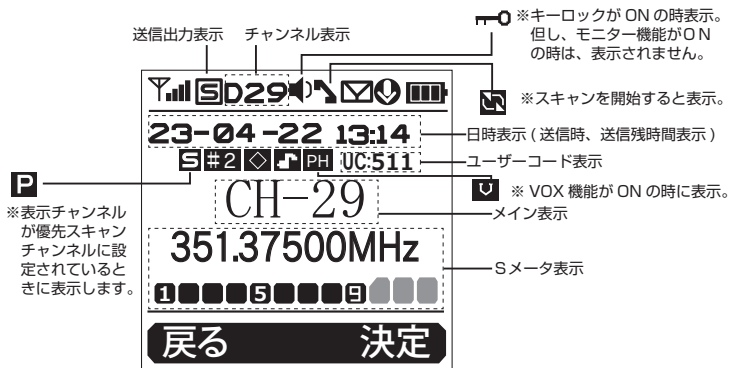
カバーを開けて、オプションのイヤホンマイクを接続します。

⑫充電器ガイド溝

充電時、充電器の突起を溝に合わせます。

各部の名称と機能

表示部



●チャンネル表示

D01 ~ D82 チャンネルおよび S01 ~ S15 の上空用受信 15 チャンネルを表示します。

●日時表示

年、月、日、時刻を表示します。2023 年は 23 と表示されます。

●ユーザーコード表示

表示されているチャンネルの設定されているユーザーコード UC:OFF ~ UC:511 を表示します。

●メイン表示

チャンネル番号や音量などを表示します。

●Sメーター表示

表示チャンネルの実際の周波数と Sメーター (受信信号強度) を表示します。出荷時の設定は OFF となっており表示されませんが、拡張メニューで Sメーター機能を ON に設定することにより表示されます。

●出荷時の設定で表示されるアイコン

アイコン	説明	参照ページ
	受信している電波の強さを表示します。 : 強 : 中 : 弱 : 微弱 : 受信なし	—
	バッテリー容量の残量を表示します。 : 高 : 中 : 低 : (赤) 要充電	13
	送信出力を表示します。 : 5W : 2.5W : 1W : 0.25W	26,34
	録音機能が ON の時に表示します。	35
	白色：スキャン中。 赤色：スキャン中受信あり。	27
	キーロックが ON のときに表示します。	26
	モニター機能が ON のときに表示します。 UC が設定されている場合、UC 不一致でも音声聞こえるようになります。UC が設定されていない場合、何も変わりません。	19,32
	表示チャンネルがスキャン対象のときに表示します。	27
	セカンドトークチャンネルが設定されているときに表示します。 青色：待機中 赤色：セカンド トークチャンネル送信中	28,45
	秘話設定が ON の時に表示します。	33,50
	PTT ホールド機能が ON の時に表示します。	44
	VOX 機能が ON (PTT または音声) の時に表示します。	43

各部の名称と機能

● PC ソフトウェア (FC-D301plusMC) による設定で表示されるアイコン

アイコン	説明
	表示チャンネルが優先スキャンチャンネルに設定されているときに表示します。
	メッセージの受信履歴があるときに表示します。
	マナー機能が ON のときに表示します。
	マナー機能が ON のときに受信があったときに表示します。

操作方法

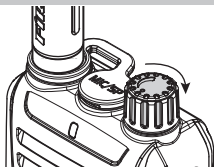
操作説明について

- 本取扱説明書の操作説明は工場出荷時に設定されている機能を説明しています。
- PC ソフトウェア (FC-D301plusMC) を使用すると、簡易メニューで操作できる機能を追加したり、詳細な設定をすることができます。PC ソフトウェア (FC-D301plusMC) の案内は 52 ページをご覧ください。(市販の USB2.0 ケーブル タイプ A ⇄ マイクロ USB タイプ B が必要です。)

通話する

1. 【電源 / 音量ツマミ】を時計方向に回して電源を入れる

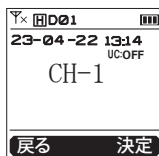
「ピピピ」と鳴って電源が入ります。電源を切るには【電源 / 音量ツマミ】を「カチッ」という音がするまで反時計方向に回します。



2. 【▲】 / 【▼】 キーを押してチャンネルを合わせる

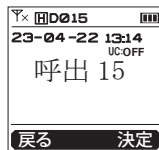
●通常のチャンネルで通話する

通話する相手局と同じチャンネルに合わせます。



●呼出しチャンネルで通話する

15 チャンネルを選ぶと「呼出 15」と表示されます。このチャンネルは、不特定多数の人との通話を含め、一般的な呼出しチャンネルとなっており、継続的な通話の場合は、別のチャンネル (CH-1 ~ 14、16 ~ 82) に切り替えてから通話してください。



ご注意

- 呼出しチャンネル (呼出 15) ではユーザーコード (UC) や秘話機能などを設定した通話ができませんのでご注意ください。

※相手局の電波を受信すると、送受信 LED が緑色に点灯し、スピーカーから受信用音が聞こえます。

操作方法

3. 【電源 / 音量ツマミ】を回す

右（時計方向）に回すと音量が大きく、左（反時計方向）に回すと音量が小さくなります。

4. 【PTT スイッチ】を押す

送信状態となり、送受信 LED が赤色に点灯します。



5. マイクに向かって話す

【PTT スイッチ】を押し続けながら話します。マイクは口元から 3 ～ 4cm ほど離してください。【PTT スイッチ】を離すと待受受信状態に戻ります。



ご注意

- 大きな声で話したり、マイクロホンとの距離が近すぎると、明瞭度が低下する場合があります。

●バックライトについて

送受信やキーを操作すると表示部と前面キーの照明が自動液晶オフ設定時間点灯します。

自動液晶オフ設定を OFF にすると表示部と前面キーの照明は点灯し続けます。
(自動液晶オフ 34 ページ参照)

●タイムアウトタイマーについて

本機は、電波法の規定により 1 回の通話時間を、送信と受信あわせて 5 分間に制限しています。連続送信を自動的に停止する機能です。本機は、連続して 5 分以上の送信はできません。5 分以上送信を続けると警告音が鳴り、送信が停止します。この場合、1 分以上経過しないと再度送信することはできません。

●キャリアセンス（混信防止）について

送信しようとしているチャンネルを他の局が使用中の場合は、そのチャンネルでの送信を禁止する機能です。送信しようとするチャンネルが他の局に使用されているときに【PTT スイッチ】を押すと、警告音が鳴り、表示部に「ビジー」と表示されます。他の局が通話を終了してから送信してください。

操作方法

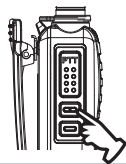
送信出力切り替え

送信出力を H (5W : 初期設定) から S (0.25W)、L (1W)、M (2.5W) に切り替えます。通信距離が十分な場合は低い送信出力に切り替えることで電池の消耗を少なくすることができます。また他のグループへの混信を軽減できます。

●【サイド2スイッチ】を押し続ける

送信出力が S (0.25W) に切り替わります。S 出力時に【サイド2スイッチ】を押し続けると、送信出力が L (1W) に切り替わります。L 出力の時に【サイド2スイッチ】を押し続けると、送信出力が M (2.5W) に切り替わります。M 出力の時に【サイド2スイッチ】を押し続けると、送信出力が H (5W) に切り替わります。

- ・ 高出力時は「H」、小出力時は「S」、低出力時は「L」、中出力時は「M」アイコンが表示されます。
- ・ スキャン機能動作中は、送信出力の切り替えはできません。
- ・ 送信出力は簡易メニューでも設定できます。(34 ページ参照)
- ・ 呼出チャンネル (CH15) のみ個別の送信出力設定ができます。



キーロック

操作キーをロックし、誤操作を防止できます。

●【決定キー】を押し続ける

キーがロックされます。キーロック時は、「」アイコンが表示されます。キーロック中にキーを操作すると「ロック中」と表示されます。キーロックしているときに【決定】を押し続けると、キーのロックが解除されます。



チャンネルスキャン

チャンネルを自動的に変化させて目的とする信号を受信できるチャンネルを探す機能です。ユーザーコードを設定しているときは、ユーザーコードが一致するチャンネルを探します。

1. 【▲キー】を押し続ける



アイコンが表示され、スキャンを開始します。

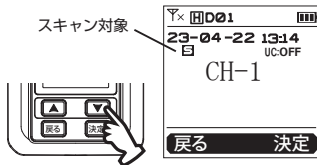


2. スキャンの停止

【▲キー】を押し続けるとスキャンを停止します。

●スキャン対象チャンネル

各チャンネルをスキャンの対象にするか、しないかを選択できます。



- ・【▼キー】を押し続ける度に、表示しているチャンネルがスキャン対象 / スキャン非対象チャンネルになります。スキャン非対象チャンネルはスキャンをしません。
- ・スキャン対象チャンネルは【S】アイコンが表示されます。
- ・スキャン動作中は、スキャン対象 / 非対象の切り替えはできません。

セカンドトークチャンネル

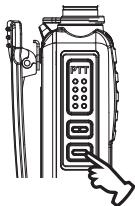
通常の選択チャンネルとは別に、セカンドトークチャンネルを設定することにより、セカンドチャンネルで通話ができます。

セカンドトークチャンネルを設定すると、【サイド 1 スイッチ】がセカンドトークチャンネル専用の PTT キーに設定されます。セカンドトークチャンネルを設定すると同時に、通常の見当チャンネル表示中もセカンドトークチャンネルと交互にスキャンします。受信信号がある場合はそのチャンネルにとどまり音声を聞くことができます。

- ・セカンドトークチャンネルは拡張メニューで設定します。(45 ページ参照)。セカンドトークチャンネルを設定すると「#2」アイコンが青色で点灯し、スキャンを開始します。



- ・セカンドトークチャンネルが受信状態となると「#2」が赤色の点灯に変わり、受信したことをお知らせします。
- ・【サイド 1 スイッチ】を押し続けると「#2」が赤色で点灯に変わり、セカンドトークチャンネルで送信します。
- ・通常の見当チャンネルが受信状態になると、「#2」が青色で点灯します。



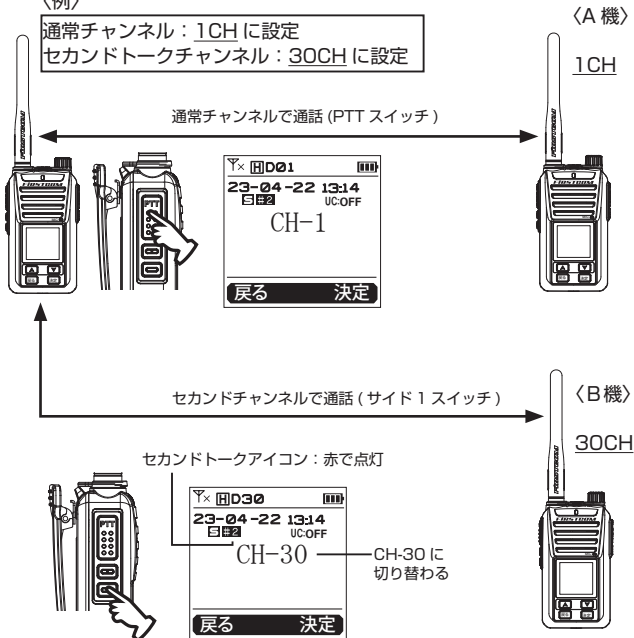
サイド 1 スイッチがセカンドトークチャンネルの PTT スイッチに設定される

- ・通常の選択チャンネルでの受信と区別するため、セカンドトークチャンネル受信時にピープ音を鳴らすこともできます。

●セカンドトークチャンネルの設定例

〈例〉

通常チャンネル：1CH に設定
セカンドトークチャンネル：30CH に設定



ご注意

- セカンドトークチャンネルと優先スキャンチャンネルが両方設定されている場合は、セカンドトークチャンネルが優先されます。
- セカンドトークチャンネル機能を使用する時には、モニター機能を OFF にしてご使用ください。

操作方法

簡易メニュー

簡易メニューは下記の簡易機能を設定するメニューです。

表示	設定項目	設定値
一括 UC	一括ユーザーコード (UC)	なし (初期値) / 1 ~ 511
秘話	秘話機能	Off (初期値) / On
上空 CH	上空チャンネル受信	Off (初期値) / On
送信出力	送信出力設定	S(0.25W)/L(1W)/M(2.05W)/H(5W) 初期値
自動液晶オフ	自動液晶オフ設定	OFF/10 秒 (初期設定) / 20 秒 / 30 秒 / 60 秒
録音	録音設定	Off (初期値) / On
	録音一覧 (再生)	録音一覧表示 / 選択 / 再生
	全削除	録音ファイル全削除

●簡易メニューの表示

1. 【決定キー】を押す

簡易メニューモードに入り、設定項目が表示されます。



2. 【▲】 / 【▼】 キーを押して設定項目を選択する

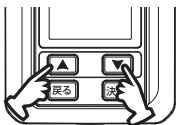


3.【決定キー】を押す

設定値選択画面になります。

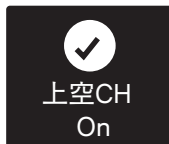
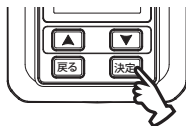


4.【▲】 / 【▼】 キーを押して設定値を選択する



5.【決定キー】を押す

確定画面が表示され、設定項目表示に戻ります。



確定画面

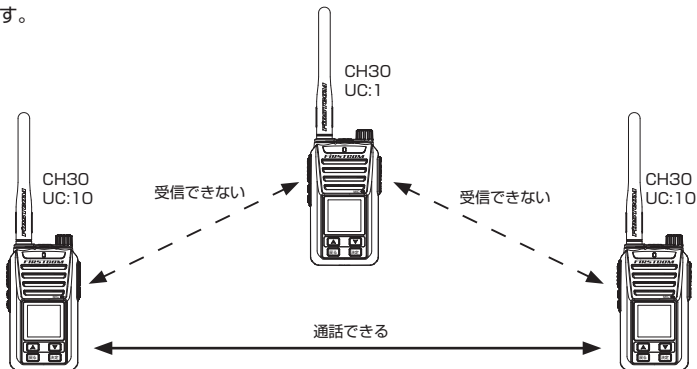
6.【戻るキー】を押す

チャンネル表示画面に戻ります。

※簡易メニュー表示中、【サイド1スイッチ】【サイド2スイッチ】を押すことによりチャンネル表示画面に戻ることができます。

一括ユーザーコード (UC)

ユーザーコード通信とは、同じチャンネルを複数のユーザーが使用している場合、同じユーザーコードを設定している通話グループの音声だけを聞こえるようにする方式です。



⚠ ご注意

- 呼出しチャンネル (呼出 15) では本機能は使用できません。
他のチャンネルを選んでから設定してください。
- モニター機能を ON にすると UC が設定されている場合、UC 不一致でも音声がかんこえるようになります。
- ユーザーコードによる制御は、電波の混信を回避するものではありません。電波がかん信している場合は、キャリアセンス機能が働きます。

入力コード

10

戻る
決定

ユーザーコードを入力します。

[なし] ユーザーコードを使用しません。(初期設定)

[1 ~ 511] 選択した番号がユーザーコードに設定されます。

- ・【▲】【▼】キーを押すと 1 桁目の選択になります。
- ・1 桁目を選択して【決定】を押し、【▲】【▼】キーを押すと次の桁の選択画面になります。
- ・2 桁以上表示しているときに、【戻る】を押すと 1 桁目が削除されます。
- ・コードを入力して【決定】キーを押すと設定値が確定し、簡易メニューに戻ります。

秘話機能

秘話機能は、通信する相手局も秘話機能が ON で、同じ秘話鍵コードが設定されていないと正しく通信できません。

出荷時は秘話鍵コードが設定されていません。拡張メニュー「一括秘話鍵」(50 ページ)にてコード(1～32767)を入力してから、秘話機能を ON/OFF してください。



[Off] 秘話機能が OFF になります。(初期設定)

[On] 秘話機能が ON になります。

- ・秘話機能 ON 時は「」のアイコンが表示されます。
- ・スキャン機能動作中は、秘話機能の ON/OFF 切り替えはできません。



ご注意

- 呼出しチャンネル(呼出 15)では本機能は使用できません。
他のチャンネルを選んでから設定してください。
- 秘話機能を使用しても、電波を利用した通信であるため、第 3 者による盗聴を完全に阻止できるものではありません。

上空チャンネル受信

登録局に対する上空利用割当周波数(351.10625～351.19375MHz(6.25kHz 間隔)の15波)のS1～S15チャンネルが受信できるようにする設定です。



[Off] 通常を送受信チャンネル選択になります。
(初期設定)

[On] 上空チャンネル(受信専用)が追加されます。
・上空チャンネルは受信専用となります。

送信出力設定

送信出力を設定します。

- 1 【▲】【▼】キーを押して設定値を選択する。
- 2 【決定】キーを押すと設定値が確定します。

S (0.25W)
L (1W)
M (2.5W)
H (5W : 初期設定)

送信出力

1 S(0.25W)

2 L(1W)

3 M(2.5W)

4 H(5W)

戻る

決定

自動液晶オフ機能

設定時間の通話やキー操作が無かった場合に液晶表示を自動でオフする機能です。
液晶表示がオフの時は、10 秒毎に送受信 LED が緑色に点滅します。

- 1 【▲】【▼】キーを押して設定値を選択する。
- 2 【決定キー】を押すと設定値が確定します。

[OFF] 自動液晶オフ機能 OFF
[10 秒] 自動液晶オフ機能 10 秒 (初期設定)
[20 秒] 自動液晶オフ機能 20 秒
[30 秒] 自動液晶オフ機能 30 秒
[60 秒] 自動液晶オフ機能 60 秒

自動液晶オフ

1 OFF

2 10 秒

3 20 秒

4 30 秒

戻る

決定

録音機能

送信（発信）音声と受信音声を録音 / 再生する機能です。

- 1 【▲】【▼】キーを押して設定項目を選ぶ
 - 2 【決定キー】を押す
- 設定値選択モードになります。

録音

- ① 録音設定
- ② 録音一覧
- ③ 全削除

戻る

決定

1 録音設定

通話録音機能の ON/OFF 設定ができます。

【戻るキー】を押し続けることでも ON/OFF 切替ができます。

録音設定

- ① Off
- ② On

戻る

決定

[Off] 通話録音機能 OFF(初期設定)

[On] 通話録音機能 ON



ご注意

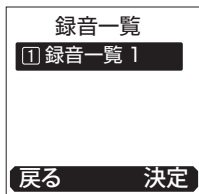
- 秘話設定 ON の場合の通話録音は本機同士の録音が可能です。通話相手が他社製品等で秘話設定 ON の場合、正常に通話録音できない場合があります。秘話機能 OFF の場合、通話相手が他社製品等の場合でも通話録音が可能です。

操作方法

2 録音一覧

録音ファイルを選択し再生する機能です。

- ・ 録音一覧を選択し【決定キー】を押します。

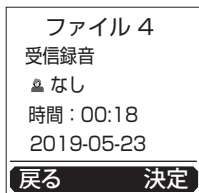


- ・ 録音されたファイルの一覧が表示されます。

【▲】【▼】キーを押して再生するファイルを選び【決定キー】を押します。



- ・ 録音されたファイルの概要が表示されます。



- 1 段目に“受信録音”または“発信録音”が表示されます。
- 2 段目に“なし”が表示されます。選択呼出機能での通話録音は ID 名称が表示されます。
- 3 段目に録音時間が表示されます。
- 4 段目に録音年月日が表示されます。

【決定キー】を押すと再生モード選択画面になります。

オプション

① 再生

② 循環再生

戻る

決定

再生：選択したファイルを再生します。【決定キー】を押すと再生が始まります。再生中、【▲】を押すと次のファイルを再生し、【▼】を押すと前のファイルを再生します。

循環再生：【決定キー】を押すと、選択したファイルを再生後、前のファイルを続けて再生します。一番古いファイルの再生終了後、最新のファイルから順番に再生を続けます。

【戻るキー】を押すと再生を停止します。

再生中、録音種別”RX”（受信録音）、”TX”（発信録音）と”無し”が表示されます。選択呼出機能での通話録音はID名称が表示されます。

オプション



戻る

3 全削除

録音ファイルを全削除します。

1. 【▲】【▼】キーを押して全削除を選ぶ
 2. 【決定キー】を押す
- “全削除？”と表示されます。

【戻る】全削除を行わず録音機能選択画面に戻ります。

【決定】“メッセージ削除中”の表示後、“削除完了”が表示され録音ファイルの全削除が完了します。

録音



戻る

決定

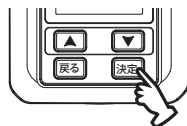
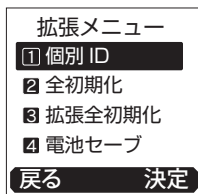
拡張メニュー

拡張メニューは本機の詳細な設定をするメニューです。

●拡張メニューの表示

1. 【決定キー】を押しながら、電源を入れる

拡張メニューモードに入ります。



決定キーを押しながら
電源を入れる。

2. 【▲】 / 【▼】 キーを押して設定項目を選択する



3. 【決定キー】を押す



設定値選択画面になります。



4. 【▲】 / 【▼】 キーを押して設定値を選択する



5. 【決定キー】を押す

確定画面が表示され、設定項目表示に戻ります。



6. 電源を入れ直す

チャンネル表示画面に戻ります。

操作方法

●拡張メニューの設定項目

表示	設定項目	設定値	参照ページ
個別 ID	個別 ID	1 ~ 65519	41
全初期化	全設定初期化	決定 (初期化) 戻る	41
拡張全初期化	拡張メニュー 設定初期化	決定 (初期化) 戻る	42
電池セーブ	バッテリーセーブ	Off/On	42
VOX	VOX	Off/PTT/ 音声	43
PTT HOLD	PTT ホールド	Off/On	44
2 トーク Time	セカンドトークチャンネル保 持時間	2 秒 / 5 秒 / 10 秒	44
2 トーク Beep	セカンドトークチャンネル ビーブ音	Off/On	45
2 トーク CH	セカンドトークチャンネル	なし / Channel 1 ~ 82	45
内マイク感度	内部マイクロホン感度	-20dB ~ 0dB(標準) ~ +6dB	46
外マイク感度	外部マイクロホン感度	-20dB ~ 0dB(標準) ~ +6dB	46
通話告知音	通話告知音	Off/On	47
終話告知音	終話告知音	Off/On	47
送信音特性	送信音イコライザー	フラット / 低域強調 / 高域強調	48
受信音特性	受信音イコライザー	フラット / 低域強調 / 高域強調	48
送信出力制御	送信電力オートパワーダウン	Off/On	49
一括秘話鍵	一括秘話鍵コード	なし / 1 ~ 32767	50
キー操作音	キー操作音	OFF / 1 ~ 16 / 受信音連動	50
S メーター	周波数 S メーター表示	Off/On	51
日時設定	日時設定	年 / 月 / 日 / 時 / 分 / 秒	51
日時表示	日時表示	Off/On	52
設備情報	設備情報	設備情報の表示のみ	52

個別 ID

選択呼出し機能を使用する場合に、各無線機に ID 番号 (自局 ID) を設定します。



1 (初期設定) ～ 65519 の設定範囲で選択した番号の ID 番号が設定されます。

- ・ 選択呼出し機能を使用するには PC ソフトウェア (FC-D301MC) にて設定が必要です。選択呼出し受信のときは送受信 LED が青色に点灯します。
- ・ 【▲】【▼】キーを押して 1 桁目を選択して【決定】を押すと、次の桁の選択になります。
- ・ 2 桁以上表示しているときに、【戻るキー】を押すと 1 桁目が削除されます。
- ・ ID を入力して【決定キー】を押すと設定値が確定し、拡張メニューに戻ります。
- ・ 個別 ID 番号は、他の無線機と重複しないように設定してください。

全設定初期化

全設定を初期化すると、設定されている内容は全て出荷時の状態に戻ります。



1. 拡張メニュー項目選択画面で「全初期化」を選択し【決定キー】を押す。
「全初期化?」と表示されます。
2. 【決定キー】を押す。 全ての設定を初期化します。
【戻るキー】を押す。 初期化されません。
拡張メニュー項目選択画面に戻ります。

操作方法

拡張全初期化

拡張設定メニューを初期化すると、拡張メニューに設定されている内容は全て出荷時の状態に戻ります。



1. 拡張メニュー項目選択画面で「拡張全初期化」を選択し【決定キー】を押す。
「拡張全初期化？」と表示されます。
2. 【決定キー】を押す。 拡張メニュー設定を初期化します。
【戻るキー】を押す。 初期化されません。
拡張メニュー項目選択画面に戻ります。



ご注意

●初期化が終了し、「拡張メニュー」の表示に戻るまでは電源を切ったり、バッテリーパックを取り外さないでください。

電池セーブ

バッテリーの消費を少なくする機能です。信号を受信するか、キーを操作するとバッテリーセーブは一時的に解除されます。



- [Off] バッテリーセーブ機能を解除します。(初期設定)
[On] バッテリーセーブ機能が動作します。



ご注意

●メニュー設定中やスキャン中は、バッテリーセーブ機能は動作しません。

VOX

送信中はハンズフリーで運用できます



[Off] VOX 機能は動作しません。(初期設定)

[PTT] 誤送信や頭切れを防ぐため、【PTT スイッチ】の短押しで送信を開始し、通話中に音声入力がなくなると自動的に送信を終了します。

[音声] 音声入力で送信を開始し、通話中に音声入力がなくなると自動的に送信を終了します。

- ・VOX 機能が On のときは「」アイコンが表示されます。
- ・VOX と PTT ホールド設定値が両方 On の場合は、PTT ホールド動作が優先されます。



ご注意

- 周囲の騒音などにより、マイクロホンへの入力がないならない場合は、【PTT スイッチ】を単押しして送信を終了します。
- 設定値：音声を設定した場合、周囲の騒音や本機への衝撃などによる音により誤送信する場合があります。そのような場合には設定値を PTT に変更してご使用ください。

PTT ホールド

送信中はハンズフリーで運用できます。通常は送信するときは【PTT スイッチ】を押し続けますが、本機能を On にすると、【PTT スイッチ】を一度単押しすれば【PTT スイッチ】を離しても送信が継続します。送信をやめるときはもう一度【PTT スイッチ】を単押しします。

PTT HOLD

① Off

② On

戻る

決定

[Off] 【PTT スイッチ】を離すと送信が終了します。
(初期設定)

[On] 【PTT スイッチ】を離した後も送信を継続します。

・ PTT ホールド機能が On のときは「**PH**」アイコンが表示されます。

セカンドトークチャンネル保持時間

セカンドトークチャンネルを受信しスキャン停止後、セカンドトークチャンネルの受信信号がなくなってからスキャンを再開するまでの時間を設定します。

2 トーク Time

① 2 秒

② 5 秒

③ 10 秒

戻る

決定

[2 秒] 2 秒後にスキャンを再開します。
(初期設定)

[5 秒] 5 秒後にスキャンを再開します。

[10 秒] 10 秒後にスキャンを再開します。

・ 本設定を有効にするためにはセカンドトークチャンネルを設定します。

セカンドトークチャンネルビープ音

セカンドトークチャンネル送受信時に通常の選択チャンネルと区別するためにビープ音を鳴らします。

2 トーク Beep

① Off

② On

戻る

決定

[Off] ビープ音は鳴りません。(初期設定)

[On] ビープ音を鳴らします。

- ・本設定を有効にするためにはセカンドトークチャンネルを設定します。

セカンドトークチャンネル

セカンドトークチャンネルを設定します。運用方法は 29 ページをご覧ください。

2 トーク CH

① なし

② Channel 1

③ Channel 2

④ Channel 3

戻る

決定

[なし] セカンドトークチャンネル機能は Off になります。
(初期設定)

[Channel 1 ~ 82] チャンネルを設定するとセカンドトークチャンネル機能が On になり、本設定チャンネルのスキャンを開始します。

内部マイク感度

内蔵マイクロホンの感度を変更することができます。2 ステップ毎に変更できます。

内マイク感度

11 0dB(標準)

12 2dB

13 4dB

14 6dB

戻る

決定

-20dB ~ 0dB(標準) ~ 6dB 数字が大きくなるほど感度が高くなります。

0dB は標準感度(初期設定)になります。

外部マイク感度

スピーカーマイクロホン使用時など、外部マイクロホンの感度を変更することができます。2 ステップ毎に変更できます。

外マイク感度

11 0dB(標準)

12 2dB

13 4dB

14 6dB

戻る

決定

-20dB ~ 0dB(標準) ~ 6dB 数字が大きくなるほど感度が高くなります。

0dB は標準感度(初期設定)になります。

通話告知音

【PTTスイッチ】を押して送信したときに、通話が可能な状態になったことを送信者に音で知らせる機能です。通話の頭切れを防ぐために使用します。

通話告知音

① Off

② On

戻る

決定

[Off] 通話開始告知音は出力しません。(初期設定)

[On] 通話開始告知音を出力します。

終話告知音

送信者が【PTTスイッチ】を離して送信を終了したことを受信者に音で知らせる機能です。

終話告知音

① Off

② On

戻る

決定

[Off] 終話開始告知音は出力しません。(初期設定)

[On] 終話開始告知音を出力します。

送信音イコライザー

送信音声の音質調整ができます。

送信音特性

① フラット

② 低域強調

③ 高域強調

戻る

決定

[フラット] 標準的な音質になります。(初期設定)

[低域強調] 送信音声の低域を強調します。

[高域強調] 送信音声の高域を強調します。

受信音イコライザー

受信音声の音質調整ができます。

受信音特性

① フラット

② 低域強調

③ 高域強調

戻る

決定

[フラット] 標準的な音質になります。(初期設定)

[低域強調] 受信音声の低域を強調します。

[高域強調] 受信音声の高域を強調します。

送信電力オートパワーダウン

受信レベルが良好なときに、送信出力を設定されている送信出力値より 1 段階自動で下げ、他社通信への混信低減と低消費電力にする機能です。送信出力設定が H(5W) の場合で受信レベルが良好な場合、M(2.5W) に送信出力を切り替えます。送信出力設定が M(2.5W) の場合で受信レベルが良好な場合、L(1W) に送信出力を切り替えます。送信出力設定が L(1W) の場合で受信レベルが良好な場合、S(0.25W) に送信出力を切り替えます。送信出力設定が S(0.25W) の場合、本設定が On でも機能は動作しません。10 秒間送受信が無かった場合、パワーダウン前の送信出力になります。

送信出力制御

① Off

② On

戻る

決定

[Off] 送信電力オートパワーダウン機能を使用しない。(初期設定)

[On] 送信電力オートパワーダウン機能を使用する。



ご注意

- 本機能は 1 対 1 での通信でのみご使用ください。複数でのグループ通信にて本機能を使用すると通信品質が劣化する場合があります。

一括秘話鍵コード

秘話鍵コードを設定します。秘話機能の On/Off は簡易メニューで設定します。



- [なし] 秘話鍵コードは設定されません。(初期設定)
- [1 ~ 32767] 選択された秘話鍵コードが設定されます。
- ・ 1桁目を【▲】【▼】キーにて選択して【決定キー】を押すと、次の桁の選択になります。
 - ・ 【戻るキー】を押すと、前の桁の選択に戻ります。
 - ・ 秘話鍵コードを入力し【決定キー】を押すと秘話鍵コードが確定し拡張メニュー選択画面に戻ります。

キー操作音

キーを操作したときに鳴るビープ音量を設定します。
数値が大きいほど音量が大きくなります。



- [OFF] キー操作音は鳴りません。
- [1 ~ 16] 選択したレベルの一定音量となります。
- [受信音連動] 【音量ツマミ】の位置と連動して音量が変化します。(初期設定)

周波数 S メーター表示

現在の周波数と S メーターを表示できます。

S メーター

① Off

② On

戻る

決定

[Off] 周波数 S メーターを表示しません。(初期設定)

[On] 周波数 S メーターを表示します。

日時設定

年 - 月 - 日 - 時間 - 分 - 秒 の設定をします。

拡張メニュー

⑩ キー操作音

2023 - 07 - 07

12 : 34 : 56

⑪ 設備情報

戻る

決定

・【▲】【▼】キーにて年を設定後【決定キー】を押すと月の設定になります。

・年と同様に月 - 日 - 時間 - 分 - 秒の設定が終わり【決定キー】を押すと設定が確定し拡張メニュー選択画面に戻ります。



ご注意

- 使用環境等により、1～2分/月 時刻がずれる場合があります。定期的に時刻合わせを行ってください。
- 日時設定をしてから、本体内部の日時バックアップ用電池の充電のため約1時間、電池パックを付けて充電してください。電池パックを取り外した場合、日時を保持できるのは数時間です。時刻がずれた場合、日時設定を行ってください。

操作方法

日時表示

待ち受け画面の年月日時表示を設定できます。



[Off] 日時を表示しません。

[On] 日時を表示します。(初期設定)



ご注意

- 録音ファイルは日時表示設定「Off」でも日時が記録 / 表示されます。

設備情報

本機の設備情報が表示されます。【戻る】を押すと拡張メニュー選択画面に戻ります。

PC ソフトウェア (FC-D301plusMC) について

PC ソフトウェア (FC-D301plusMC: フリーソフト) を使用すると下記の設定などが可能になります。詳細な内容は PC ソフトウェアをご覧ください。

- ・簡易メニュー項目を追加できます。
簡易メニューで起動 / 設定する項目を追加できます。
- ・チャンネル毎に機能を設定できます。

秘話リストやコードの設定

チャンネル名の登録

スキャン対象チャンネルの設定

- ・選択呼出機能を追加できます。
個別呼出やグループ呼出ができます。
- ・キー動作機能を変更できます。

【サイド 1 スイッチ】【サイド 2 スイッチ】のスイッチ動作と【▲】【▼】【戻る】【決定】の長押しキー動作を設定できます。

PC ソフトウェア (FC-D301plusMC) は弊社ウェブサイトからダウンロードしてください。

<https://www.frc-net.co.jp/>

※ PC ソフトウェアを使用するためには USB2.0 に対応した USB ケーブルでパソコンと接続する必要があります。本機の USB 端子はマイクロ USB タイプ B です。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に下記の確認項目を点検してください。

症状	原因	処置	参照ページ
電源が入らない	電池の容量が低下している	充電電池を充電する	12
		充電電池を交換する	10
・通話ができない ・電源 / 音量ツマミを回しても音が出ない	相手局とチャンネル設定が違っている	同じチャンネル設定にする	23
	相手局と通信方式が違っている	アナログ通信方式とデジタル通信方式では交信することができません。 種別コード 3R の無線機を使用する	23
	相手局とユーザーコード (UC) が違っている	同じユーザーコードにする	32
	相手局と秘話設定が異なる	相手局の秘話設定と合わせる	33,50
送信ができない	受信している	受信が終わるのを待つ	23
	タイムアウトタイマーが働いている	タイムアウトタイマーが機能した場合は、送信禁止時間が経過するのを待つ	25
秘話設定やユーザーコードが設定できない	呼出チャンネル「呼出 15」になっている	呼出チャンネル以外のチャンネルにする	23
チャンネルが切り替わらない	キーロックになっている	キーロックを解除する	26

主な仕様

送信出力	0.25 ~ 5W (5W/2.5W/1W/0.25W 偏差 : +20%、-50%)
チャンネル数	82ch + 15ch(受信専用上空用)
送信周波数	351.2 ~ 351.63125MHz(6.25kHz 間隔 70 波) 351.03125 ~ 351.1MHz(6.25kHz 間隔 12 波)
受信周波数	351.03125 ~ 351.63125MHz(6.25kHz 間隔)
電波形式	F1E, F1D
変調方式	4 値 FSK
使用電源	7.4V DC $\pm$ 10%
バッテリー容量	1600mAh
低周波出力	700mW 以上
受信感度	-5dB μ V _{emf} 以下 (BER=1%)
外形寸法 (突起物含まず 幅×高さ×奥行)mm	56 × 101.1 × 28.9
外形寸法 (突起物含む 幅×高さ×奥行)mm	60.6 × 112 × 41(ベルトクリップ含む)
質量 (アンテナ、ベルトクリップ、バッテリーバック含む)	226g
アンテナ端子 (本体)	SMA-J
防塵・防水機能	IP67 相当

※仕様は予告なく変更することがあります。

※本製品は種別コード 3R の無線機です。

保証規定

本製品は、弊社において厳重な品質管理のもとに検査され合格したものです。万一ご購入後 1 年以内に製造上の不備に起因する故障が生じた場合には、弊社が責任をもって無償修理いたします。

なお、次に記載した場合の故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

- ①使用上の誤り、不当な改造や修理などによる故障および損傷。
- ②ご購入後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
- ③火災、地震、水害、異常電圧、指定外の電源、電圧、周波数使用およびその他の天変地異などによる故障および損傷。
- ④本保証書のご提示がない場合。
- ⑤本保証書の所定事項が未記入、あるいは字句が書き換えられた場合。

※本保証書は日本国内においてのみ有効です。

- 使用上修理を依頼されるときはまず、操作方法等に間違いがないかどうかよく調べていただき、それでも異常がある時は修理依頼してください。
- その際は問題が発生したときの症状、表示されたメッセージ、症状の再現方法についてできるだけ詳しくお書きください。
- 修理に出す前に、お客様が設定したデータをお控えください。修理内容によっては、全てのデータが消去される場合があります。
- 本機の不具合により通話不能などにより発生した損害、被害につきましては、弊社は一切の責任を負いませんので、ご了承ください。
- 保証は不具合が発生した製品を販売店にお持ちいただくか、弊社宛てに送付していただき、修理もしくは代品との交換によるセンドバック方式となります。
- 出張修理は行っておりません。
- 保証の範囲は商品のみの保証となり、商品を使用する事により発生した商品以外への損害についての保証は一切いたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。

※あらかじめご承知いただきたいこと

- ・修理の時、一部代替品を使わせていただくことや修理品に変わって同等品と交換させていただきますことがあります。
- ・出張による修理は一切致しませんので、あらかじめご了承ください。
- ・本取扱説明書の内容は、機能改善のため予告なく変更する場合があります。

※電池バック、ベルトフックは消耗品につき初期故障（使用開始後 10 日間）のみ保証します。

【サポート問い合わせ先】

株式会社 エフ・アール・シー サービス課

TEL : 042-793-7746 土日・祝日及び弊社休業日を除く【10:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00】



品質保証書

本製品は、弊社において厳重な品質管理のもとに検査され、それに合格したものです。
万一、ご購入後 1 年以内に製造上の不備に起因する故障が生じた場合には、弊社が責任をもって無償修理いたします。
修理の際には、本製品をご購入いただいた販売店に、必ず本保証書をご持参の上ご依頼ください。本保証書のご提示のない場合には全額有償となりますので、本保証書は大切に保存してください。

■保証期間中は：

保証書を添えてお買い求めの販売店までご持参いただくか、弊社宛てに症状をお書き添えの上送付願います。保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは：

お買い求めの販売店、または弊社サービス課にご相談ください。
修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

商 品 名	ハイパワー・デジタルトランシーバー			FC-D301PLUS
保証期間	1 年間 (消耗品除く)	購入年月日	年 月 日	
お 客 様	ご住所			
	TEL.			
販 売 店	お名前			
	住所 店名			
印				

本保証書は再発行しませんので大切に保管してください。

FRC co.,LTD.

株式会社エフ・アール・シー

〒194-0037 東京都町田市木曽西 2-3-8

URL <https://www.frc-net.co.jp>



4-146-001